

2011年（平成23年）度第1回常務理事会記録

日時 2011年（平成23年）1月29日（土） 11:00～13:30

場所 八重洲倶楽部第5会議室

出席者：内山安男（理事長）、牛木辰男、岡部繁男、河田光博、藤本豊士（以上常務理事）、竹田扇（常任幹事）、天野恵子、中村聡、川村知子（以上、口腔保健協会）

<理事長挨拶>

任期の終わりを迎えての挨拶と、3月に横浜で開催される生理学会との合同大会への協力要請があった。

I. 会議記録の確認

2010年（平成22年）度第7回常務理事会（平成22年12月11日開催）記録（案）

2010年（平成22年）度第5回理事会（平成22年12月11日開催）記録、同議事録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告（岡部庶務担当理事）

(1) 会員異動報告

平成22年12月分（入会者 該当者なし、退会者 正会員 18名、学生 4名、学術評議員 6名、名誉会員 2名）

逝去会員：

屋敷和三氏（鳥取大学名誉教授/名誉会員） 平成20年12月15日逝去（享年80歳）

山形健三氏（大阪市立大学名誉教授/名誉会員） 平成21年6月7日（享年87歳）

逝去会員追悼記事の執筆を故人と関係のある会員に依頼する事になった。

(2) 学会宛文書類について

① 通知・依頼：(株)科学新聞社より「学会大会アンケート」他21件の通知・依頼あり。

② 書籍・定期通信等：中日友好医院より「中日友好医院学報Vo. 24-4, 5」他12件あり。

(3) 会費納入状況（長期未納者の除名について）

会費未納者に関する説明があり、その氏名を次回の総会時に会場で掲示する事が確認された。また、可能な限り理事長、理事で分担して督促を行なう事にした。

(4) 平成23・24年度役員選出選挙結果について

配布資料に基づいて説明があり、選挙規定により中国四国支部の次点繰り上げがあった事、無効票の回避策を次回から実施する事が確認された。

(5) 各種委員会報告について

情報技術委員会（辰巳委員長）以外からは提出済である旨が報告された。解剖学会HPアクセス件数の調査を行う事が確認された。資料記載の無効票数の誤りが指摘された。

(6) 評議員会・総会の案内と書面表決状について

配布資料に基づいて説明があった。

(7) 評議員会・総会資料作成について

① 資料に基づいて説明があり、物故会員の追悼文執筆依頼、新任教授の名簿の確認があった。

② 解剖学雑誌投稿規定改訂に関する議事を資料に追加する事とした。

③ 「第14回国際組織化学会議」は平成24年度の開催であるため今回の議事からは削除する事とした。

④ 国際形態科学シンポジウムへの協力に関する議事を追加する事とした。

⑤ APICAの演題受付締切りが延長された事、招待講演枠を増やす事が提案された。

(8) 文部科学省高等教育局医学教育課による「死体使用に関する調査」アンケートについて

資料に基づいて説明があり、様々な意見交換が行なわれた。

(9) その他

特になし

2. 編集報告（藤本編集担当理事）

(1) その他

本年9月刊行の3号の掲載記事に関して説明があり、その判断を執行部に委ねる事とした。

3. 企画・渉外報告（河田企画・渉外担当理事）

(1) 平成21年度日本解剖学会奨励賞・解剖組織技術士功労賞について

資料に基づいて説明があり、女性の出産休業への配慮、解剖学教育への貢献評価システムの確立、応募年齢制限の変更などに関して報告と意見交換があった。

(2) 2011（平成23）年度日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況について

- ① 内山理事長より準備は順調に進んでいる事が報告された。
 - ② 岡部理事よりトラベルアワード、プログラムの配布、抄録集の配布に関する説明があった。
 - ③ 岡部理事より追加資料をもとに予算に関する説明があった。
 - (3) 生科連 第2回定例会議について
資料に基づいて説明があった。公益法人移行に関する最近の動向、企業との関係、最先端研究開発プロジェクト、ポストク問題に関するアンケート実施、生物学オリンピックへの協力などに関する話題提供があり、種々の意見交換が行なわれた。
 - (4) 技術士のしおり案について
資料に基づいて説明があった。藤本理事より組織細胞技術士試験範囲に電子顕微鏡を含むか否かの確認があり、今後の検討課題として審議を継続していく旨が確認された。
 - (5) 第28回日本医学会総会について
資料に基づいて説明があり、プログラム集の回覧があった。
 - (6) その他
特になし
4. 会計報告（牛木会計担当理事）
- (1) 支部学術集会収支報告について
各支部からの報告書に関して説明があった。また第115回大会残余金が学会に返還された事が報告された。
 - (2) 平成22年度決算書概要（案）について
資料に基づいて説明があった。財産目録、正味財産、決算に関してそれぞれ報告があった。学会会計が現在は黒字である事が確認された。
 - (3) その他
特になし

III. 審議事項

1. 教授就任による申請学術評議員について
資料に基づいて説明があり、1名を承認した。
2. 平成23年度予算（案）について
資料に基づいて説明があった。岡部理事より終身会員の会費改定を反映させる必要性、藤本理事より名簿積立金の積算高明示の必要性がそれぞれ指摘され、これらの項目を反映させたものを承認することとした。
3. 申請による学術評議員審査結果について
資料に基づいて説明があり、資格審査基準の確認を行った。その上で17名の申請者のうち11名を理事会に推薦する事を決定した。
4. 永年会員の推薦について
被推薦人名簿に関して説明があり、希望者に関しては承認する事にした。また会員規約が変更となり会費が12万円になったこと、65歳以上で評議員資格があるのは解剖学正教授のみであることを確認した。
5. シュプリンガーとのASI契約について
資料に基づいて公開入札に関する説明があり、承認された。
6. 男女共同参画委員会の委員推薦について
資料に基づいて説明があり、委員長は委員間の互選という事が承認された。
7. 将来計画ワーキンググループ最終答申案について
資料に基づいて説明があり、承認された。
8. 一般社団法人への移行について
事務局天野氏から説明があり、これに基づいて議論がなされた。変更のあった点と審議の対象になった点は以下の通り。
 - (1) 本件を担当する学術評議員の役割分担を確認した。
 - (2) 定款にある学会所在地を文京区から口腔保健協会のある豊島区に変更する事とした。
 - (3) 第28条第2項(1)～(3)を削除する事とした。
 - (4) 公認会計士への監査依頼とその費用に関して意見交換が行なわれた。
 - (5) 予算の承認は社員総会での承認ではなく議決で対応する事とした。
9. 奨励賞規約見直しについて
次年度からの選考で女性の妊娠、出産、育児に配慮した規約改正を行う事が提案され、これを今後の検討課題としていく事が承認された。

10. 次期理事会への申し送り事項について
資料に基づいて説明があり承認された。
11. 次回理事会・常務理事会・支部長会・各種委員会の日程・議事について
常務理事会 2011年3月27日（日）12:00～14:30
支部長会 2011年3月27日（日）14:30～15:30
理事会 2011年3月27日（日）15:30～18:30
何れも東京大学医学部教育研究棟2階 第4セミナー室で開催。
学術評議員会/総会 2011年3月29日（火）12:30～14:00
パシフィコ横浜5階 502会議室で開催。
新・常務理事会 2011年3月29日（火）15:00～15:30
パシフィコ横浜4階 421会議室で開催。
新・理事会 2011年3月29日（火）15:30～16:30
パシフィコ横浜4階 421会議室で開催。
以上の日程が承認された。
12. その他
特になし